

(4) 特別支援教育

講座名	【幼稚園・保育所(園)・認定こども園特別支援教育】 幼児期のインクルーシブ教育の実践～互いに認め合う関係づくり～		
講師	武蔵野東第一・第二幼稚園 園長 加藤 篤彦	キーマン	発達障がい 基礎的環境整備 合理的配慮 多様な学び チーム支援
期日	9月27日(金)	会場	中部会場
<p><プロフィール></p> <p>2003- 現職</p> <p>○内閣府子ども・子育て会議委員</p> <p>○(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研修研究委員長</p> <p>○(公社)全国幼児教育研究協会理事</p> <p>○(公社)東京都私立幼稚園教育研修会理事 他</p> <p>学校法人武蔵野東学園は55年前から、インクルーシブ教育を実践してきた。当初は幼稚園だけであったが、自閉症児の成長をおって小・中・高等専修学校を設立した。現在は、1000人を越える自閉症児の卒業生が社会で活躍している。</p>		<p><ねらい></p> <p>発達障がいへの理解を深めるとともに、教育的支援を必要とする幼児についての指導の工夫及び合理的配慮のあり方・互いに認め合い・育ちあ合う関係づくり、チーム支援のあり方について学ぶ。</p>	
<p><著書・論文 他></p>		<p><内容></p> <p>[講義・協議]</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいの状態や特性および発達の程度等に応じた指導・支援の工夫 <p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いに認め合う関係づくりとチーム支援のあり方 	
備考			

講座名	【小学校特別支援教育】通常学級における合理的配慮の提供と授業づくりのポイント		
講師	早稲田大学 教授 高橋 あつ子	キーマン	発達障がい 環境整備 合理的配慮 授業づくり 学びのユニバーサルデザイン
期日	9月20日(金)	会場	中部会場
<p><プロフィール></p> <p>2018- 現在</p> <p>2017-2018 早稲田大学大学院教育学研究科教授</p> <p>2015-2017 早稲田大学教育・総合科学学術院教授</p> <p>2013-2014 早稲田大学教育・総合科学学術院准教授</p> <p>2008-2013 早稲田大学大学院教職研究科准教授</p> <p>2007-2008 公立小学校教頭</p> <p>2004-2007 川崎市総合教育センター指導主事</p> <p>1981-2007 公立小学校教諭</p>		<p><ねらい></p> <p>多様な教育的ニーズに応じた配慮について理解を深めるとともに、学びのユニバーサルデザインの視点を大切にして、児童の学びやすい環境整備、指導・支援の充実及び授業づくりのポイントについて学ぶ。</p>	
<p><著書・論文 他></p> <p>○場の発想からニーズ対応と成長支援を保障する提案へ 月刊学校教育相談(ほんの森出版)2019</p> <p>○感覚統合・発達の偏り・得意を見つけ得意を伸ばす特集 学校のアセスメント入門-学校でする子どものアセスメント(子どもの心と学校臨床)2018</p> <p>○私学流 特別支援教育(学事出版)2018</p> <p>○マルチレベルアプローチ[共著](ほんの森出版)2017</p> <p>○教育論壇インクルーシブ教育を推進する学校経営:通常の学級における合理的配慮の在り方(小学校時報)2017</p> <p>○発達に偏りのある子のトラブルを減らす自己理解イラスト教材:CD-ROM付「くまくんのお話」から学ぼう!自分の気持ちや感じ方(月刊学校教育相談)2015</p>		<p><内容></p> <p>[講義]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な教育的ニーズに応じた指導・支援のあり方 <p>[講義・演習]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びのユニバーサルデザインの視点を大切にした授業づくり 	
備考			

講座名	【中学校特別支援教育】通常学級の各教科等における資質・能力を育む効果的な指導 ～一人一人に応じた合理的配慮の提供～		
講師	桃山学院教育大学 教授 石塚 謙二	キーノート	発達障がい 授業づくり 合理的配慮の提供 主体的・対話的で深い学びの実現 授業のユニバーサルデザイン化
期日	11月15日(金)	会場	中部会場
<プロフィール>		<ねらい>	
2016- 現職 (2016- 日本授業UD学会副理事長) 2013-2016 大阪府・豊能町教育長(2008-2013 東京学芸大学客員教授(兼任)) 2000-2012 文部科学省特別支援教育課調査官 1996-1999 国立特殊教育総合研究所研究室長 1993-1995 千葉県教育委員会指導主事 1991-1992 千葉県特殊教育センター研究指導主事 1979-1990 千葉大学附属養護学校文部教官教諭 1976-1978 千葉県立養護学校教諭		通常学級における一人一人の子どもの特性を理解し、的確なアセスメントを行い、教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供を行うとともに、ユニバーサルデザインの視点を意識した授業づくりと各教科等の授業のねらいを達成するための方策について学ぶ。	
<著書・論文 他>		<内容>	
○知的障害教育におけるアクティブ・ラーニング「深い学び」の実現と学びのメカニズム(特集 知的障害教育における「アクティブ・ラーニング」)(発達障害研究 日本発達障害学会)2017 ○発達障害のある子どもの国語の指導—どの子もわかる授業づくりと「つまずき」への配慮【編著】(教育出版)2015 ○授業のユニバーサルデザインVol.7(授業のユニバーサルデザインとインクルーシブ教育&道徳授業のユニバーサルデザイン)(授業のユニバーサルデザイン研究会/東洋館出版社)2014		[講義] ・発達障がいの特性理解と一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供について [講義・演習] ・通常学級におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりと各教科等のねらいを達成するための方策	
備考			

講座名	【高等学校特別支援教育】成人期を見通した高等学校における支援～自律と社会参画に向けて～		
講師	京都大学 准教授 村田 淳	キーノート	発達障がい 自律と社会参画 青年期の課題 教育的ニーズ
期日	10月18日(金)	会場	中部会場
<プロフィール>		<ねらい>	
京都大学 学生総合支援センター准教授 障害学生支援ルーム チーフコーディネーター 高等教育アクセシビリティプラットフォーム (HEAP) ディレクター ○全国高等教育障害学生支援協議会 (AHEAD JAPAN) 理事 ○文部科学省 障害のある学生の修学支援に関する検討会委員 ○日本学生支援機構 (JASSO) 障害学生修学支援実態調査分析協力者 他		大学における障がいのある学生への支援の動向、合理的配慮や社会への移行支援の実践について学び、教育機関における支援のあり方を考える。また、発達障がい等のある生徒の教育の権利保障をふまえた上で、自律と社会参画に向けて、高等学校卒業までに身に付けておきたい力と必要な指導・支援について学ぶ。	
<著書・論文 他>		<内容>	
○知のスイッチー障害からはじまるリベラルアーツ【嶺重慎・広瀬浩二郎・村田淳編】(京都大学学生総合支援センター協力)(岩波書店)2019 ○合理的配慮ハンドブック(日本学生支援機構)2018 ○よくわかる大学における障害学生支援【竹田一則編】(ジエース教育新社)2018 ○高校・大学における発達障害者のキャリア教育と就活サポート【小谷裕美・村田淳編】(黎明書房)2018 ○発達障害のある大学生への支援【高橋知音編】(金子書房)2016		[講義・演習] ・教育機関における合理的配慮と移行支援 [講義・演習] ・成人期を見通した高等学校における支援のあり方 ～自律と社会参画に向けて～	
備考			

講座名	【特別支援学校①】知的障がい教育における「育成をめざす資質・能力」をふまえた授業づくりの実際 ～カリキュラム・マネジメントの視点を大切に～		
講師	東京学芸大学 教授 菅野 敦	キーワード	学びの連続性 育成すべき資質・能力 授業づくり 主体的に学習に取り組む態度 個に応じた指導 主体的・対話的で深い学び カリキュラム・マネジメント
期日	10月31日(木)	会場	中部会場
＜プロフィール＞ 2000- 現職 1988-2000 東京学芸大学教育学部助手 1988-1988 筑波大学大学院博士課程心身障害学研究所 単位取得 1978-1988 知的障害養護学校で教員として勤務 ○日本発達障害学会理事長 ○日本発達障害支援システム学会会長 ○日本特殊教育学会評議員・常任編集委員 等 ○主な研究内容 知的障害、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性及び、各ライフステージにおける発達課題の解明を行い、そこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から特別支援教育の具体的な指導内容を明らかにし、指導のための方法や教育課程の解明を目指している。 ○児童発達支援事業(発達障害児支援センター)、保健センター、生活介護事業所、就労継続支援事業所、特例子会社における就労支援や生産活動に対するアドバイスも多数務める。		<ねらい> 知的障がい教育における育成をめざす資質・能力をふまえた教育課程編成のあり方や、主体的・対話的で深い学びの視点を大切にしたい授業実践力の向上を図る。	
＜著書・論文 他＞ ○障害者職業カウンセラー 厚生労働大臣指定講習テキスト第3版第1巻[総論]職業リハビリテーション(情報印刷)2016 ○キーワードで読む 発達障害研究と実践のための医学診断/福祉サービス/特別支援教育/就労支援-福祉・労働制度・脳科学的アプローチ(福村出版)2016 ○ダウン症者とその家族でつくる豊かな生活-成人期ダウン症者の理解とサポート実践プログラム(福村出版)2015 ○社会就労センターハンドブック(全国社会福祉協議会)2015 ○特別支援教育・教育相談・障害者支援のために ASIST学校適応スキルプロフィール-適応スキル・支援ニーズのアセスメントと支援目標の立案(福村出版)2014		<内容> [講義] ・知的障がい教育におけるカリキュラム・マネジメントについて [講義・協議] ・児童生徒が思考・判断し、主体的に活動する授業づくり	
備考			

講座名	【特別支援学校②】特別支援学校におけるライフステージをふまえたキャリア教育の推進 ～青年期を見越したソーシャルスキルを大切に～		
講師	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三	キーワード	自立と社会参加 社会的・職業的自立 ライフステージ 就労支援 キャリア発達 ソーシャルスキル
期日	9月13日(金)	会場	中部会場
＜プロフィール＞ 2000- 現職(学校教育研究科特別支援教育専攻教授) 1999-2000 東京学芸大学教育学部附属養護学校教諭 1998-1999 東京総合医学研究所(国立精神・神経センター技術研究生) 1997-2000 YMCA西東京センターアスカクラス 1995-1998 多摩市教育研究所		<ねらい> 特別支援学校の幼稚部から高等部までのライフステージをふまえて社会的・職業的自立の視点を大切にしたい授業づくりについて学ぶ。	
＜著書・論文 他＞ ○行動問題を示す発達障害児をもつ母親と教師の協働的アプローチにおける協議ツールの効果と支援行動の維持の検討[共著](特殊教育学研究)2014 ○知的障害者におけるキャリア発達に関する諸要因についての研究-職業科を有する知的障害特別支援学校高等部を対象に-[共著](発達心理臨床研究)2014 ○思春期・青年期の発達障害者が「自分らしく生きる」ための支援[共著](金子書房)2013 ○Q&Aで理解する-高機能自閉症・アスペルガー症候群への思春期・青年期支援[共著](明治図書)2012 ○クラスで始める応用行動分析の基礎基本LD&ADHD(明治図書)2011 ○ちゃんと人につきあいたい-発達障害者や人間関係に悩む人のためのソーシャルスキル・トレーニング[共著](エンバワメント研究所)2008		<内容> [講義] ・ライフステージをふまえたキャリア発達を促す指導・支援のあり方 ～思春期・青年期におけるソーシャルスキル・トレーニング～ [講義・協議] ・自立と社会参加をめざし、自己選択・自己決定をとおして主体的に学ぶ児童生徒の育成～関係機関との連携も含めて～	
備考			

講座名	【特別支援教育①】発達障がい の特性理解とライフステージに応じた指導・支援のあり方 ～幼児期から青年期まで～		
講師	大正大学 教授 玉井 邦夫	キーワード	発達障がい 関係機関との連携 環境整備 特別支援教育 個別の教育支援計画 指導・支援
期日	8月30日(金)	会場	中部会場
<プロフィール> 2008- 現職 1991-2007 山梨大学教育学部特殊教育学科准教授 1990-1991 山梨大学教育学部特殊教育学科専任講師		<ねらい> 発達障がいを含む障がいについての理解と、児童生徒への学習指導・支援の充実を図るとともにライフステージに応じた指導の工夫や、個に応じた配慮と支援について理解を深める。	
<著書・論文 他> ○エピソードで学ぶ子どもの発達と保護者支援・発達障害・家族システム・障害受容から考える(明石書店)2018 ○発達障害白書[共著](日本発達障害連盟)2018 ○心理臨床講義[共著](金剛出版)2015 ○本当は、あまり知られていないダウン症のはなし(神奈川LD協会)2015		<内容> [講義] ・発達障がいを含む障がいについての理解と支援 ～幼児期から青年期までを見据えた各ライフステージに応じた指導のあり方～ [講義・演習] ・幼児・児童・生徒の学びやすい環境整備と関係機関との連携	
備考			

講座名	【特別支援教育②】読み書きの困難さの背景をさぐり、効果的な指導・支援のあり方を学ぶ ～読むこと・書くことの喜びと楽しさを伝えよう～		
講師	尚綱学院大学 教授 小池 敏英	キーワード	発達性読み書き障がい アセスメント 指導 認知特性
期日	8月6日(火)	会場	中部会場
<プロフィール> 2019- 現職 1999-2018 東京学芸大学教育学部教授 1994-1998 東京学芸大学教育学部助教授 1993-1994 東京学芸大学教育学部講師		<ねらい> 児童生徒の認知特性を理解し、発達段階に応じたアセスメントや教材教具の工夫を行うとともに、効果的な指導・支援のあり方について学ぶ。	
<著書・論文 他> ○「読めた」「わかった」「できた」読み書きアセスメント～中学校版～活用&支援マニュアル編(東京都教育委員会)2018 ○「読めた」「わかった」「できた」読み書きアセスメント活用&支援マニュアル編(東京都教育委員会)2017 ○LDの子の読み書き支援がわかる本(講談社)2016 ○障害の重い子供のコミュニケーション指導ー学習習得状況把握表(GSH)の活用(ジヤース教育新社)2014 ○発達科学ハンドブック6 発達と支援(新曜社)2012 ○読解力を育む発達支援教材(学研みらい)2010		<内容> [講義・演習] ・児童生徒の認知特性を理解し、読み書きの基礎スキルの促進に基づく学習指導のあり方 [講義・演習] ・発達段階に応じた指導・支援の工夫 ～効果的な教材・教具の工夫～	
備考			